

## 平成22年3月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成21年11月6日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 ナフコ  
 コード番号 2790 URL <http://www.nafco.tv>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 深町 勝義  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 中村 克彦  
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日 配当支払開始予定日

TEL 093-521-7030  
 平成21年12月4日

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年3月期第2四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	107,527	4.1	7,299	21.6	7,379	20.6	3,827	80.9
21年3月期第2四半期	103,256	—	6,003	—	6,119	—	2,115	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	128.53	128.53
21年3月期第2四半期	71.07	71.06

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	172,468	100,853	58.5	3,386.14
21年3月期	169,852	97,486	57.4	3,274.19

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 100,853百万円 21年3月期 97,486百万円

### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	16.50	—	16.50	33.00
22年3月期	—	16.50	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	16.50	33.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	210,000	3.1	11,700	25.6	11,876	24.4	6,367	66.5	213.78

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- |                 |   |
|-----------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う変更 | 無 |
| ② ①以外の変更        | 無 |

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	29,784,400株	21年3月期	29,774,400株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	185株	21年3月期	185株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第2四半期	29,780,881株	21年3月期第2四半期	29,769,290株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成21年8月7日発表の業績予想の数値は変更していません。上記予想は、本資料の発表現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3.業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政策効果による下支えもあり足元の景況感の改善と、景気の底割れリスクの回避が見込まれてはおりますが、失業率の悪化など雇用環境は急速に下降が進み、個人消費の低迷が深刻化するなど今後の本格的な景気回復には依然として不安材料が多く、先行きの下振れリスクの可能性を含みながら推移している状況であります。

家具・ホームセンター業界におきましても、このような不況下、異業種を含めた企業間競争の激化がさらに継続しており、非常に厳しい経営環境となっております。

このような状況の中で当社は、「お客様満足度100%」の経営理念のもと、店舗におけるお客様志向の徹底、お客様のニーズにあった商品政策の強化を継続してまいりました。加えて売上高の増加を目指し、「資材・DIY・園芸用品」（売上高前年同期比5.9%増）、「生活用品」（前年同期比4.3%増）、「家具・ホームファッション用品」（前年同期比0.1%減）の3本柱の強化及び差別化にも積極的に取組んだことや、比較的好天に恵まれたこと、また来店客数の増加目的のため当年4月より本格的にポイントカードを導入したことなどにより、好調に売上高を伸ばすことができました。さらには、第2四半期累計期間においても経営基盤の充実のために積極的な店舗展開に取組み、6店舗の新規出店、2店舗の増床、1店舗の閉店を行い、当第2四半期末での店舗数は251店舗となりました。お客様の声による商品の充実や、季節商品の早期取組みなども実施し既存店の売上高は順調に推移いたしました。その結果、売上高1,075億27百万円（前年同期比4.1%増）となりました。また、売上総利益は継続した値入改善に取組み、343億94百万円（前年同期比7.5%増）、売上総利益率は前年同期と比べ1.0ポイント改善し32.0%となりました。また、販売費及び一般管理費につきましては、新規店舗の開設費用等もあり270億95百万円（前年同期比4.3%増）、売上高に対する販売管理比率は前年同期比と同じ25.2%となりました。この結果、営業利益72億99百万円（前年同期比21.6%増）、経常利益73億79百万円（前年同期比20.6%増）、四半期純利益は38億27百万円（前年同期比80.9%増）の増収増益となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末の資産合計は、1,724億68百万円となり、前事業年度末と比較して26億16百万円の増加となりました。

資産の部では、流動資産の残高は、680億26百万円（前事業年度末比11億72百万円増）となりました。増加の主な要因は、現金及び預金の増加（前事業年度末比17億33百万円増）などによるものであります。固定資産の残高は、1,044億42百万円（前事業年度末比14億44百万円増）となりました。増加の主な要因は、有形固定資産の増加（前事業年度末比18億39百万円増）などによるものであります。

負債の部では、流動負債の残高は589億48百万円（前事業年度末比8億18百万円減）となりました。減少の主な要因は、未払法人税等が増加（前事業年度末比16億88百万円増）したものの、設備支払手形の減少（前事業年度末比25億52百万円減）などによるものであります。固定負債の残高は、126億67百万円（前事業年度末比68百万円増）となりました。

純資産の部では、純資産合計の残高は、1,008億53百万円（前事業年度末比33億67百万円増）となりました。

3. 業績予想に関する定性的情報

当第2四半期の業績につきましては、概ね計画通りであり、現段階では平成21年8月7日発表時の業績予想の修正は行なっておりません。

#### 4. その他

##### (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

###### ① 固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

###### ② 繰延税金資産の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前事業年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

###### ③ 税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

##### (2) 追加情報

従来、ポイントカード制度により付与したポイントについては、ポイント使用時に費用処理しておりましたが、会員数増加に伴いポイント残高の重要性が増したことから、適正な期間損益計算を目的として当第1四半期会計期間より、将来使用されると見込まれる額をポイント引当金として計上しております。

これに伴い、当第2四半期累計期間に発生したポイントに対応する金額を販売費及び一般管理費に、過年度に発生したポイントに対応する金額を特別損失に計上しております。

この結果、従来の方法によった場合と比較して営業利益及び経常利益は137百万円、税引前四半期純利益は165百万円減少しております。

##### (3) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期財務諸表】  
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	17,009	15,275
売掛金	1,279	1,557
商品	47,550	47,727
その他	2,200	2,310
貸倒引当金	△13	△16
流動資産合計	68,026	66,854
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	47,930	46,853
土地	37,473	36,437
建設仮勘定	1,148	2,147
その他(純額)	3,218	2,492
有形固定資産合計	89,770	87,931
無形固定資産	1,651	1,610
投資その他の資産	13,020	13,455
固定資産合計	104,442	102,997
資産合計	172,468	169,852
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	29,733	29,425
短期借入金	14,790	14,630
1年内返済予定の長期借入金	2,594	2,342
未払法人税等	3,368	1,680
未払金	3,003	4,167
設備関係支払手形	2,212	4,764
賞与引当金	1,043	961
役員賞与引当金	—	35
ポイント引当金	165	—
その他	2,036	1,759
流動負債合計	58,948	59,766
固定負債		
長期借入金	6,310	6,325
退職給付引当金	3,211	3,234
役員退職慰労引当金	1,192	1,697
その他	1,952	1,340
固定負債合計	12,667	12,598
負債合計	71,615	72,365

(単位：百万円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,538	3,532
資本剰余金	4,223	4,217
利益剰余金	93,101	89,765
自己株式	△0	△0
株主資本合計	100,863	97,515
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△9	△28
評価・換算差額等合計	△9	△28
純資産合計	100,853	97,486
負債純資産合計	172,468	169,852

(2)【四半期損益計算書】  
【第2四半期累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	103,256	107,527
売上原価	71,268	73,132
売上総利益	31,987	34,394
販売費及び一般管理費	25,983	27,095
営業利益	6,003	7,299
営業外収益		
受取利息	39	37
受取配当金	6	7
受取手数料	135	130
受取家賃	104	103
その他	58	69
営業外収益合計	343	347
営業外費用		
支払利息	165	165
不動産賃貸原価	55	45
その他	5	55
営業外費用合計	227	266
経常利益	6,119	7,379
特別利益		
貸倒引当金戻入額	3	4
役員賞与引当金戻入額	—	1
固定資産売却益	0	—
受取保険金	—	47
特別利益合計	3	53
特別損失		
固定資産除却損	22	5
固定資産売却損	0	—
投資有価証券評価損	—	13
商品評価損	1,604	—
災害による損失	—	24
減損損失	621	260
その他	—	55
特別損失合計	2,248	359
税引前四半期純利益	3,874	7,073
法人税等	1,759	3,246
四半期純利益	2,115	3,827

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	3,874	7,073
減価償却費	1,765	2,223
減損損失	621	260
のれん償却額	10	10
無形固定資産償却費	52	45
長期前払費用償却額	32	35
有形固定資産除却損	22	5
無形固定資産除却損	0	—
有形固定資産売却損益(△は益)	△0	—
その他の営業外損益(△は益)	—	26
その他の特別損益(△は益)	—	24
投資有価証券評価損益(△は益)	—	13
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3	△4
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△18	△23
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	32	△505
賞与引当金の増減額(△は減少)	82	81
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△38	△35
ポイント引当金の増減額(△は減少)	—	165
受取利息及び受取配当金	△45	△44
支払利息	165	165
売上債権の増減額(△は増加)	△46	△13
たな卸資産の増減額(△は増加)	△97	173
仕入債務の増減額(△は減少)	3,395	307
未払消費税等の増減額(△は減少)	△49	691
その他の資産の増減額(△は増加)	△65	△27
その他の負債の増減額(△は減少)	5	△556
小計	9,696	10,094
利息及び配当金の受取額	37	42
利息の支払額	△164	△147
法人税等の支払額	△2,918	△1,575
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,650	8,414



(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△5,238	△6,628
有形固定資産の売却による収入	0	—
無形固定資産の取得による支出	△88	△96
投資有価証券の売却による収入	0	—
固定資産の除却による支出	△0	△5
敷金及び保証金の差入による支出	△166	△68
敷金及び保証金の回収による収入	27	69
投資その他の資産の増減額(△は増加)	△114	301
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,578	△6,427
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,000	160
長期借入れによる収入	1,800	1,500
長期借入金の返済による支出	△1,090	△1,263
リース債務の返済による支出	△0	△247
株式の発行による収入	22	11
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△446	△491
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,283	△331
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,356	1,655
現金及び現金同等物の期首残高	12,825	12,290
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,182	13,945

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項なし

(5) 商品部門別売上高

科目	当第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
	金額(百万円)
資材・DIY・園芸用品	42,056
生活用品	31,817
家具・ホームファッション用品	21,964
その他	11,689
合計	107,527

資材・DIY・園芸用品	大工道具、建築金物、ペイント・ハケ、左官用品、園芸用品、水道用品、エクステリア、木材・シェルフ、ルームアクセサリ、作業用品、グリーン、電材
生活用品	家庭用品、季節用品、収納用品、文具、日用品、調理家電、履物、食品
家具・ホームファッション用品	家具、フロアカバリング、カーテン、インテリア小物、照明、寝具、リフォーム
その他	カー用品、乗物、ペット用品、灯油他

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項なし

## 6. その他の情報

## 前年同四半期の商品部門別売上高

科目	前年同四半期 (平成21年3月期第2四半期)
	金額(百万円)
資材・DIY・園芸用品	39,712
生活用品	30,491
家具・ホームファッション用品	21,991
その他	11,060
合計	103,256